

マイブランド
野菜を作ろう!

4月

菜園くらぶ

監修/帖地 近行



重宝な夏野菜

ナス



収穫まで
約1カ月半!

〔ナス科・インド東部原産〕

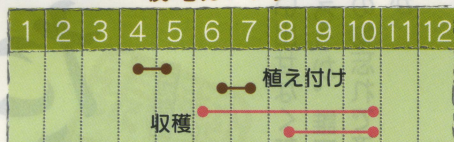
カリウム、ポリフェノール、食物繊維を多く含み、抗酸化作用が高く動脈硬化予防にも役立ちます。

長さ、形、色とさまざまな種類があり、作りやすく収穫量も多いので数株あれば便利です。揚げる、煮る、炒める、焼く、漬物など調理の幅も広く、夏には欠かせない野菜の一つです。

用意するもの(1㎡当たり)

■苗 ■苦土石灰150g ■元肥(完熟堆肥2~3kg、化成肥料80g(3握り強)、鶏ふん200g、熔リン100g) ■追肥(化成肥料25g、鶏ふん50g) ■敷きわらまたは枯れ草、黒マルチ、支柱(約1m)、ひも

栽培カレンダー



栽培手順

① 植え付け

植え付けの2週間前までに苦土石灰を全面に散布し、深くまでよく耕す。1週間後に深さ20~30cmの溝を掘り元肥を施し、掘り上げた土を少し戻してよくまぜる。残りの土を戻して高さ30~45cmほどの大きな畝を作りマルチングする。

1週間後、本葉5、6枚の茎が太くてもがしりした苗を約60cm間隔で浅く(苗の土の上面が畝の表面から3~5cm出るように)植え付ける。植え付ける前に苗に灌水しておき、植え付けと同時に支柱を立て、苗をひもで結ぶ。

② 管理

・整枝: 植え付け後最初に咲く花の付いている主枝と、そのすぐ下から出る側枝2本を残す3本仕立てが管理しやすい。3本出そろったら、その下に出る枝や葉はすべて切り取る。主枝以外の2本の側枝も支柱を立ててひもで結ぶ。込んでいる枝、古い葉、傷んだ葉は取り除く。

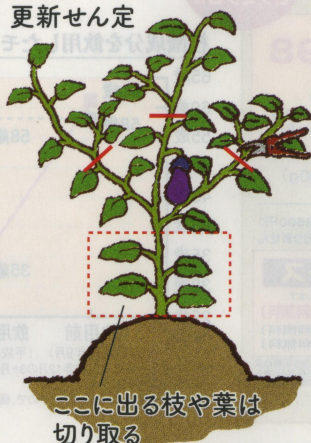
・追肥: 植え付け2週間後に株から約15cmの所に化成肥料をひとつまみほど輪状に施し土を被せる。以後、樹勢を見ながら3週間に1回の割合で施す。夏は液肥が効果的。追肥の1回目は株の周りに施し、2、3回目は畝の肩の部分に、4、5回目以後は畝の裾に筋状に施し土を被せておく。一度に多く施さず、少量ずつ回数を多くして施す。

・灌水その他: 高温と乾燥、過湿に弱い

ので注意。梅雨明け前にマルチを外し敷きわらなどをたくさん敷く。夏の高温乾燥期には畝の両側の通路部分に灌水する。

・更新せん定: 夏の高温乾燥を乗り切り、秋ナスを収穫するために7月中旬から下旬にかけて、主枝、側枝の枝元に付いている芽、葉2、3枚を残して切り取る。追肥をすると約1カ月で収穫できるようになる。

更新せん定



③ 収穫

花が咲いて20~25日で収穫できる。晴れた日の朝夕に収穫する。早め早めに収穫すると樹が疲れない。特に一番果は小さいうちに収穫する。

* 樹勢の判断 *

- 枝の先端付近に花が咲く、枝先の葉が小さい、花の色が薄い... 肥料不足
- 雌しべが雄しべより短い... 肥料不足、水分不足、なり疲れ
- 果実の艶がない... 肥料不足、水分不足